

東日本大震災から早6年を経過、被災地・被災者の今は?今後は?

# 第5回みんなでつながろう in 和光 チャリティイベント&コンサート

2017

3月7日(火) ~ 12日(日)

於:和光市民文化センター サンアゼリア



3月7日(火) ~ 12日(日) 9:30~17:00 観覧無料  
花の力「福島の花」野口勝宏写真展 展示室ほか

3月10日(金) 11:30 ~ 16:30 無料・要予約  
和光3・11つながりカフェ 小ホール

3月11日(土) 開場12:30 開演13:00 ¥1,500(学生¥500)  
トッププロ&シビックコンサート  
大ホール

3月12日(日) 開場13:00 開演13:30 ¥1,000(学生¥500)  
音楽家・谷川賢作と「ひとり、ひとり、手から、手へ」  
小ホール



Ryugen Takahashi

【主催】和光3・11を忘れない実行委員会 【共催】社会福祉法人 和光市社会福祉協議会

【助成】公益財団法人 和光市文化振興公社

【後援】和光市・朝霞市・新座市・志木市・和光市教育委員会・朝霞市教育委員会・新座市教育委員会  
志木市教育委員会 / 板橋区・練馬区・板橋区教育委員会(予定)

私たちは忘れない。東日本大震災から早6年。今の被災地、被災者は?

# 想いを犠牲者、そして被災者・避難者の今へ 和光3・11を忘れない

花の力「福島の花」野口勝宏写真展

3月7日(火)~12日(日) 9:30~17:00

展示室ほか

観覧無料

街を花で明るくしたい。「花の力」で人を元気にしたい。そんな想いから「福島の花」シリーズを撮影されています。花は人の感情に触れ心のドアを開く力があります。花を通してどこか記憶の中にある花へとリンクし、楽しかったこと、悲しかったことなど想いを馳せる力があります。この「福島の花」を見た方々が、ひと時でも安らぎを感じ楽しい気持ちになれる。そんな一つになることができたならと、写真家の視点から花に接し撮影を続けています。今回は、そんな福島の花と、埼玉県に咲く花の作品も展示いたします。



©Katsuhiro Noguchi

## 和光3・11つながりカフェ

3月10日(金)

第1部 開場11:00 開演11:30  
第2部 開場13:00 開演13:30

小ホール

無料・要予約

和光市をはじめ近隣に避難している方々と支援者の集いです。

カフェでは、参加者同士の交流を深めながら、福島の方をお招きし、東日本大震災時と今日をお話していただきます。  
また、ゲストとして素晴らしいハーモニーを奏でるボニージャックスをお迎えしています。

内容/【第1部】● 近隣に避難している方々、支援している方々同士での交流会(昼食付)

【第2部】● 震災から6年「ふくしまの今を伝える」~防災に強い地域づくり~(仮題)  
福島の方をお呼びし、ご講演いただきます。

● 市民歌を歌った、あの"ボニージャックス"が再び和光へ♪

※東北物産販売、啓発ブースあり。(ホワイエはチケットなしでも入場可)

場所/サンアゼリア小ホール 定員/ (第1部)先着30名 (第2部)先着150名

申込/1月5日(木)からチケット(無料)配布。先着順。電話、FAXまたはEメールで。住所、氏名、年齢、性別、職業を記入。  
基本的にチケットの郵送は不可。お申込、お問い合わせ等は和光市ボランティアセンター(土日祝休み)まで。

電話:048(452)7606 FAX: 048(465)8308 E-mail: volucen@wako-shakyo.or.jp



昨年の講演模様



昨年も盛況だった東北物産販売

# トッププロ&シビックコンサート

3月11日(土) 開場12:30 開演13:00

大ホール

¥1,500

## ●第1部 「弦の祈り」

蓑田真理、中山良夫、ファイン・デュオ、アンサンブル・ラインといった日本のトッププロが弦による祈りを捧げます。

石島正博 / SOLUS—孤歌—ヴァイオリンのための — 蓑田真理(Vn)

バッハ / 無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番 Andante — 蓑田真理(Vn)

アルヴォ・ペルト / フラtres — 中山良夫(Va) 亀井良子(P)

幸田 延 / ヴァイオリン・ソナタ第2番 — ファイン・デュオ(Vn: 沼田園子 P: 莫沼明美)

吉田隆子 / お百度詣～ヴァイオリンとピアノのための小品～ — ファイン・デュオ

貴志康一 / 龍 — ファイン・デュオ

ブルッフ / クラリネットとヴィオラとピアノのための8つの小品 Op.83 — 沼田園子(Vn) 莫沼明美(P) 中山良夫(Va)

ハイドン / 弦楽四重奏曲 op.50-5「夢」 — アンサンブル・ライン(Vn: 手島志保、平岡陽子 Va: 東義直 Vc: 和田夢人)

バッハ / G線上のアリア — 全員合同演奏



## ●第2部 「合唱の蘇り」

和光市民を中心に近隣の有志で合唱団、オーケストラを結成し、ベートーヴェンの第九など「祈り」「希望」をテーマに演奏します。

モーツアルト / アヴェ・ヴェルム・コルプス

ブラームス / 「ドイツレクイエム」第4曲

シベリウス / 交響詩「フィンランディア」

ベートーヴェン / 交響曲第9番「合唱付」第4楽章



ソプラノ: 藤田美奈子 アルト: 長谷川忍 テノール: 高橋淳 バリトン: 古澤利人  
指揮: 高橋隆元  
管弦楽: 和光3・11スペシャルオーケストラ  
合唱: 和光3・11スペシャル合唱団

小ホール

¥1,000 (学生¥500)

## 音楽家・谷川賢作と「ひとり、ひとり 手から、手へ」

3月12日(日) 開場13:00 開演13:30

## ●第1部 音楽家「谷川賢作」と写真家「野口勝宏」の対談



福島出身の写真家・野口勝宏氏と東京都出身のジャズピアニストで作曲家の谷川賢作氏のフリートークです。

両氏の対談は2016年の春に福島市、郡山市で行われ大変好評を博しています。

○司会: 佐藤啓三(友情出演)

## ●第2部 「ひとり、ひとり」—合唱団共演コンサート—

うずら児童合唱団、みどりのそよ風児童合唱団、大和中学校放送部 & Yamato読み聞かせ隊 和光市内中高生(予定)、慶應義塾志木高校ワグネル・ソサイエティー男声合唱団が出演し、朗読や歌を披露。

## ●第3部 「手から、手へ」—朗読と合唱で綴る、 谷川賢作の世界—

池井昌樹氏の詩「手から、手へ」をテーマに、谷川賢作氏が作曲した曲を同氏のピアノ伴奏ほかで第2部の出演者が合唱。



演奏予定曲: 「たしかなる風～ふるさと久之浜～」、「トブシリのうた」、「母のまなざし 父のひとりこと」、「宿題」、「早春」、「みぎのてのひら」、「おとなになったら」ほか

**写真家 野口勝宏**

1959年福島県猪苗代町生まれ。写真家。「福島の花の美しさで世界の人々を笑顔にしたい」と「福島の花」シリーズを制作。2012年にはオランダ国際園芸博「フロリアード」日本政府館にて「福島の花」が紹介される。2014年、2015年、2016年春に開催の福島県観光キャンペーン「福が満開、福のしま。」においてはJR東日本のメインイメージに採用され、ポスターや駅構内装飾・ラッピング車両を花でビジュアルデザイン。また、2016年5月14日就航したANA「東北フラワージェット」B737-800の機体を東北の花々でデザインする。

**ヴァイオリン 萩田真理**

大阪生まれ。桐朋学園高校音楽科を経て桐朋学園大学弦楽器科卒業、同研究科修了。2003年国際音楽連盟コンクール第2位。摂津音楽祭にて銀賞受賞。2004年大阪国際音楽コンクール第2位。堺新人演奏会にて優秀賞。

**ヴィオラ 中山良夫**

東京藝術大学音楽学部卒。1977年東京都交響楽団に入団。1990年より2000年まで「ヴィオラの世界」と題する連続リサイタルを毎年開催。またNHK-FMリサイタルなどにソロ、室内楽で度々出演。1998年、作曲家グループ「樹」第10回作品展において鈴木聰「ヴィオラ協奏曲～無の構造」を大友直人指揮新星日本交響楽団(当時)と共に初演するなどヴィオラのための新作の委嘱、初演も数多く行う。

**ファイン・デュオ**

(Vn:沼田園子 Piano:蓼沼明美)

1986年に第1回デュオリサイタルを開催し、翌1987年、マリア・カナルス国際コンクール入賞を機に「ファイン・デュオ」として本格的なデュオ活動を開始。東京をはじめ全国各地での演奏会は毎回高い評価を得てきた。2012年、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲CD録音を完成、全5回の記念演奏会シリーズも好評を得た。2016年にはデュオ結成30周年記念演奏会(全2回)を開催。

**アンサンブル・ライン**

(Vn:手島志保 Vn:平岡陽子  
Va:東義直 Vc:和田夢人)

アンサンブル・ラインは1980年4月、ハイドン作曲「ひばり」とシェーンベルクの「ナポレオン頌歌」という斬新な曲目でその旗揚げ公演をおこない、以来、より自由な表現方法を求め、その結果、古典から現代までのジャンルにとらわれない幅広いレパートリーをもつに至る。「現代の音楽展」「ミュージックトゥディ」「アジア・コンテンポラリーミュージックセリエス」「インターリンクフェスティヴァル」(P.ズーコフスキー氏と共に演)「アジア音楽祭」「ドイツと日本の音楽の現在」「国際ウェーベルンシンポジウム」等に出演。1987年より1994年まで、サントリー美術館に於ける「音楽文化展」、又、現在継続中のアンサンブル・ライン主催「チャペルコンサート」(フィリピン・ミンダナオ島のストリートチルドレンのために収益金のすべてを寄付)、及び新しいコンサートのかたちを模索する「サロンコンサート」の演奏ならびに企画構成を展開。

**チケット取扱: 和光市民文化センター TEL048-468-7771**

イトーヨーカドー和光店2Fチケットコーナー

和光市ボランティアセンター / ボランティアセンター新倉支所

TEL 048-452-7606

TEL 048-461-1776

お問い合わせ: 和光3・11を忘れない実行委員会 (TEL齊藤090-5793-3800/江頭070-5078-2531)

**作曲家 谷川賢作**

1960年東京生まれ。ジャズピアノを佐藤允彦に師事。演奏家として、現代詩をうたうバンド「DiVa」ハーモニカ奏者続木力とのユニット「パリヤーソ」、また父である詩人の谷川俊太郎と朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催。80年代半ばより作・編曲の仕事をはじめ、映画「四十七人の刺客」「竜馬の妻とその夫と愛人」NHK「その時歴史が動いた」テーマ曲等がある。

**指揮者 高橋隆元**

15歳頃より独学でピアノ及び音楽理論・作曲などを学ぶ。国立音楽大学ピアノ調律科入学、在学中より指揮活動を始める。卒業後は調律の仕事の傍ら指揮活動を続けていたが、31歳の頃より本格的に指揮の勉強を始める。指揮をクルト・レーデル、高階正光、湯浅勇治(年齢順)の各氏に師事。東京指揮研究会会員。

**ソプラノ 藤田美奈子**

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。小澤征爾音楽塾「フィガロの結婚」では急遽代役として本公演に出演。新国立劇場のオルフ「賢い女」、R.シュトラウス「アラベラ」に出演。第31回江副財團オペラ奨学生として渡伊。ミラノ音楽院奨学生、野村国際文化財団奨学生、ローム・ミュージック・ファンデーション在外音楽研究生としてイタリア・ヴェローナを拠点とし研修を重ねる。

**アルト 長谷川忍**

東京藝術大学大学院修士課程修了。二期会オペラ研修所修了。2002~04年、イタリアへ留学。ミラノ音楽院およびプライベートレッスンにおいて研鑽を積む。帰国後、東京二期会・ハンブルグ州立歌劇場共同制作、H.スダーン指揮、奇才コンヴィチュニー演出のモーツアルト「皇帝ティートの慈悲」のアンニオ役に抜擢され二期会デビュー。

**テノール 高橋淳**

埼玉県出身。東京音楽大学卒業、同大学院修了。「95年ザルツブルク・モーツアルテウム音楽院夏期アカデミー修了。二期会オペラスタジオ第43期マスタークラス修了、修了時に優秀賞を受賞。大学院在学中に、「魔笛」タミーノでデビュー。豊かな美声と巧みな演技で舞台に欠かせないテノールとして活躍している。特に近現代の作品での活躍はめざましく、多くの世界初演、日本初演に出演した。

**バリトン 古澤利人**

埼玉県出身。東京藝術大学声楽科卒業。P.M.Ferraroオペラマスタークラス、二期会オペラ研修所マスタークラス修了。文化庁人材育成オペラ「魔笛」パパゲーノ、二期会ニューウェーブオペラ「ウリッセの帰還」イルテンポ、東宝ミュージカル「レミゼラブル」司教などに出演する他、東京ディズニーシー15周年コンサート等に出演。

